

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				でき ている	でき てい る ほ ぼ	でき てい ない こ と が 多 い	全 く で き て い ない	
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	8	5		<ul style="list-style-type: none"> 理念に基づき在宅生活が継続できるようより良いケアを考え、利用者の自立支援を考慮し取り組んでいる。 理念を事業所に掲げ意識している。 「住み慣れた地域で自分らしく暮らせる」理念に基づき支援している。 自利利他の福祉の精神を読み合わせしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の通り、支援されていると思います。 職員が理念を共通認識し、サービスの特徴に基づき、利用者の思いに寄り沿い支援されていると思います。 理念は明確になっていると思います。 自己評価の通り 施設の理念の明確化が図られています。 全職員が理念を意識付けすることは大変かと思いますが、繰り返しされていることがわかりました。 利用者の自立支援が重要 利用者の体力低下を防ぐ支援がなされている。 利用者の尊厳尊重が十分に窺えております。その方に見合ったサービスへの移行の検討でマニュアル通りに行かないと思われませんがヒューマンエラーにつながらないことを期待します。
(2) 適正な人材の育成								
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	7	6		<ul style="list-style-type: none"> 事業所の理念に基づいて年間計画をたて運営している。 毎月のミーティングや研修で再確認し認識している。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告であった通り、事業計画やミーティングを通し取り組まれています。今後も継続をお願いします。 職員全員で目標達成に取り組む事は大切だと思います。 常に理念に基づいたサービスの提供について、それぞれが日頃から意識できるような声掛けや支援が必要と思います。 自己評価の通り 研修の年間計画が作成されており、事業所の理念について認識が図られているとおもいます。 毎月ミーティングや研修が行われている様子がわかり感服しました。
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	6	7		<ul style="list-style-type: none"> 毎月ヘルパー全体研修、事業所研修を実施している。 ビデオ研修、伝達研修で共有している。 毎月の研修により専門的技術向上や判断能力向上を目指した研修をする機会がある。 法人内外研修はコロナ禍で機会は少ないがzoom研修で参加できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告であった通り、事業計画やミーティングを通し、、研修もされているようです。コロナ禍とあって、開催には工夫が必要だと思いますが、今後も質の向上に向け、取り組みをお願いします。 コロナ禍でも定期的に専門技術向上の向上の研修の機会が作られていると思います。 研修にあたっては、コロナの影響で苦勞が多いと思います。今後もまだ続くと思われるコロナ禍ですのでzoom等を活用しつつ、研修を受けたあとの理解度などを捉えていけるとよいと思います。 コロナ禍においてもオンラインなど工夫しながら研修を実施されていると思います。 出来ていると思います。 研修が的確にされていると思いました。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				でき ている	でき てい る ほ ぼ	でき てい ない こ と が 多 い	でき てい ない 全 く		
I 構造評価 (Structure) 【適切な事業運営】									
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	3	10			<ul style="list-style-type: none"> ・個々の能力に応じた業務の振り分けができていない。 ・職員の得意不得意や向き不向きなどもあり、職員数や勤務体制の都合で配慮できない場合もある。 ・同行訪問によりお互いの援助内容を確認したり能力開発につながる。 ・ロールプレイ等で統一した援助ができるように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの援助内容の確認やロールプレイの実施は能力開発やケアの統一に有効な取り組みだと思います。 ・OJTや事業所内での共通認識を深め、専門技術の向上に努めて下さい。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	5	8			<ul style="list-style-type: none"> ・フェニックスネットを活用し日々情報共有している。 ・緊急時は電話連絡をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有の方法が確立しており、連携ができています。多職種間の連携を深めていただき、よりよいサービス提供につなげていただきたいです。 ・自己評価の通り ・情報共有されていると思います。
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適かつ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	6	7			<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時にどの職員でも訪問できるように普段から業務作成に工夫している。職員の能力向上につながっている。 ・出勤時間を調整できる勤務体制により、緊急時やキャンセルなど利用者ニーズに応じて可能な範囲で職員のシフト変更をし柔軟に対応している。 ・職員負担に配慮しながら調整している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの職員でも訪問できるという事は、情報共有がきちんとされ、能力向上の取り組みもされているのだと思います。職員負担に配慮している事を教えていただけますか。 ・日頃の情報共有やコミュニケーションにより、どんな時も職員全員が対応できる体制作りがされている所は素晴らしいと思います。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	3	10			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は会議開催ができ直接ご意見をお聞きすることができている。 ・質問、要望、助言に対して検討し、サービスに反映できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見や要望に対し、適切に回答もあり、丁寧な対応・反映されていると感じています。今後も意見交換の中で、より良い支援につながればと考えます。 ・会議資料、議事録とも、わかりやすく作成されていると思います。議事録には回答報告もあり、サービスに反映されていると思います。 ・外部評価者側としては、紙面会議となった場合でもできるだけ意見を伝えるようにしており、よりよいサービスの提供につなげていただきたいと感じています。 ・自己評価の通り ・今年度は第1回目が開催され、意見の聞き取りができています。 ・なかなか会議が開催できる状況でなく残念です。 ・委員それぞれの立場で意見を出し連携している会議運営がなされている。 ・地域密着型で早速に防災訓練講座、クリーン作戦の参加して頂き住民には多少なりとも親近感が芽生えたように感じます。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				ほとんど ない	ほとんど ある	ほぼ できていない ことが多い	できていない 全く	
I 構造評価 (Structure) 【適切な事業運営】								
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	9	4		<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報はフェニックスネットの活用や電話連絡をして迅速に関係機関と共有している。 フェニックスネットにはショートステイやデイサービスも参加し情報共有が迅速にできている。 	<ul style="list-style-type: none"> フェニックスネットなどの活用にて、情報が共有できていると感じ、利用者にとっても、迅速かつ正確な情報で有効的と考えられます。 「できている」と評価した人数が多いのは、関係機関と情報共有がきちんと行われているのだと思います。 ICTについては十分に有効活用されており、情報共有できていると思います。 自己評価の通り 以前よりフェニックスネットを活用した情報共有が図られていると思います。 急ぐ時などは電話が頂けると助かります。
(5) 安全管理の徹底								
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	3	10		<ul style="list-style-type: none"> ミーティングや研修を通してその時期に応じた災害対策を再確認している。 災害、防犯、事故対策のマニュアルがTeamにて確認できるようにしている。 マニュアルをもとにシミュレーションを行う必要がある。 夜間訪問は職員一人で訪問しており、ココセCOMの防犯ベルを持参して活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットでもありましたが、車での移動もあるので、安全運転に気を付けてください。また、一人での訪問となっているため、マニュアルがいつでも確認できる状況は良いと思います。 すぐにマニュアルが確認できることは良いことだと思います。災害等はいつ起きるかわかりません。シミュレーションの機会の確保は必要だと考えます。 安心安全に職員が就業できるよう、会社全体(こぶし全体)での決まり事がしっかりしている必要があると思います。 自己評価の通り 特に夜間の防犯への訓練は、引き続き力を入れていただきたいと思います。 災害時体制がしっかりされていると思います。 安全が重要 研修の実施、ヒヤリハットの共有、対策により安全確保がなされている。 夜間の職員一人訪問では、呼び出した利用者の方も余計な心配をするのではないかと推察いたします。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	8	5		<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の管理方法を決め職員間共有し実施している。 毎日鍵の有無を確認している。 個人情報は不要に持ち出さないが、訪問中の取り扱いについて鞆から離れないよう工夫している。 持ち出すタブレットには暗証番号を決めてダブルロックしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報管理は昨今重要視されています。今後も事業所研修等で個人情報管理について学ぶ機会があればと考えます。 個人情報の管理方法の職員認識ができていますが、「ほぼできている」との評価は、不安な部分があるということでしょうか。 決められたことが確実に全員で守られるといいですね。 個人情報の管理について、専用のノート等で持ち出しを確認している事業所があると聞いたことがあります。引き続き現在の取り組みを継続し、個人情報の保護をお願いします。 引き続き継続して取り組んでいただければと思います。 タブレットを鞆から離さないようにするには鞆に紐等取り付けられているのでしょうか？ 個人情報の保護が重要 訪問時に必要な物の持ち込みはなく適切に取り扱いがされている。 個人情報保護は介護世界では非常に気を使われると思います。利用者訪問の際は他の情報は持ち歩き等無いものと心得ます。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	できて いない ことが多い	できて いない	全く できて いない		
II 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	5	8		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活状況をよく観察し、支援が必要な時間の把握や状態変化に応じて適宜アセスメントを行い、訪問時間や援助内容の変更をしている。 ・新規利用者に関して管理者又サ責が生活状況を確認しアセスメントを行う。援助開始してから見えてくる生活状況がある。 ・利用者、ご家族のできることも考慮しながらアセスメント行っている。機能維持や自立支援、家族の負担なども考慮するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有の方法が確立しており、連携ができていると思います。多職種間の連携を深めていただき、よりよいサービス提供につなげていただきたいです。 ・利用者、家族の状況の変化をすぐ感じとれるサービスであることから、適時、適切なアセスメントを行うことができ、変化に適宜応じることができていると思います。 ・自己評価の通り ・よく行われていると思います。 	
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	6	7		<ul style="list-style-type: none"> ・介護、看護とも月1回実施しフェニックスネットで突合せ確認できている。 ・状態変化や必要時には計画へ反映している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護、看護の情報共有が定期的、必要時に行われていると思います。 ・自己評価の通り ・アセスメント内容を頼りにしています。 	
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	4	9		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の「できること」に視点を置き機能維持できるよう計画作成している。 ・退院後の利用者は症状把握し状態悪化しないよう回復に向けて計画している。 ・毎月のミーティングで利用者状況を話し合い、状態や課題を共有している。必要時は計画を見直している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の「できる」事は維持や継続できるようにする支援は重要だと感じます。また、配布資料の事例のように「～したい」という意向に添えるような視点も大事だと感じます。 ・状態把握に努め、機能維持、回復に向け、計画作成されていると思います。今後も利用者の意向に寄り添い、一緒に作成していただきたいと思います。 ・「未来志向型」というとややわかりにくいですが、「できること」として考えると何となくイメージできました。機能の維持回復のためには自立を妨げず、本人の有する力をうまく活用していけるとよいと思います。 ・自己評価の通り ・適切に行われていると思います ・機能維持と安全性の確保を両立させることは大変かと思います。またご本人の想いの強さ等と考えると計画を見直し考えることが多くなります。よく行われていると思います。 	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	できて いる ほぼ	できて いない ことが多い	できて いない	全く できて いない	
II 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	2	11		<ul style="list-style-type: none"> ・病状の知識や変化の予測、リスク管理など訪問看護の助言を受け予防的ケアや早期対応できるようにしている。 ・変化の早期発見できるよう観察している。 ・生活状況を観察している中で先を見越したリスクを考え援助内容を計画している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から関係機関との連携を大事にされていると感じます。予測は重要ですね。時には医療従事者より予測される点や変化に気を付ける点などの助言を得ながら、重度化を予防できるように取り組んでいってください。 ・病状の変化を予測することは難しいとは思いますが、専門職との連携により、変化の早期発見に努めていただきたいと思います。 ・情報共有の方法が確立しており、連携ができています。多職種間の連携を深めていただき、よりよいサービス提供につなげていただきたいと思います。 ・利用者が一番近くで生活を支援しているため、ちょっとした変化には気づきやすいと思います。それらを共有することで予測したり予防ができるとういですね。 ・自己評価の通り ・適切に行われていると思います。 ・今後もいろいろ相談させてください。 	
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	11	2		<ul style="list-style-type: none"> ・予定以外の緊急な訪問依頼があれば、業務調整し柔軟に対応している。 ・テレビ電話コールや体調不良時など状態に合わせて判断し随時訪問している。 ・利用者のニーズや状況に合わせて定期訪問の日時や回数変更など対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の情報共有、連携により、利用者のニーズに柔軟に対応されていると思います。 ・自己評価の通り 	
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	10	3		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月モニタリングを行いフェニックスネットを通して情報提供している。状況により計画の見直しをしている。 ・日頃から状況変化を早期把握するよう努め対応し、必要なら計画に反映している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有の方法が定着されており、状況把握も日頃から行われていると思います。普段の利用者さんの状態を確認できるのは、貴事業者かと思っています。積極的な提案も行っていただき、よりよい計画作成につなげてください。 ・自己評価の通り 	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できて いる 割合	できて いない 割合	できて いない 理由	全 く できて いない	
II 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	5	8		<ul style="list-style-type: none"> ・介護職では対応できない医療行為や状況判断など看護職に連絡相談し指示や助言を頂いている。 ・サービス計画時に介護職・看護職の専門的分野を理解して役割分担し効率的・効果的にサービス提供を計画している。 ・お互いに連絡を取り協力しあい対応している。 ・医療面でわからないことは看護職へ確認して効果的なサービス提供に努めている。 ・介護職ができない医療行為について利用者・家族へ説明しているが、理解してもらうことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護、看護の連携と役割分担によるサービス提供で、利用者の在宅生活の継続につながっていると思います。家族への説明で工夫されていることはありますか。 ・職域を超えたサービス提供を求められたり、専門職としての必要と思われる支援を提案しても本人や家族の同意を得られない場面もあると思います。介護医療連携により繰り返し説明を行いできる部分から実践されることで、少しずつケース全体が上手くいき始めることがあるかと思っています。 ・連絡が取れるためこちらも安心してます。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	8	5		<ul style="list-style-type: none"> ・医療面の状況などはフェニックスネットを活用し看護職より指導助言をもらい対応している。 ・疾病予防や予後、機能維持回復など看護からの指導助言を受け介護職ができる留意点の確認や観察を行っている。 ・病状変化があるときは早期に情報共有し助言指示を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護との連携ができています。今後も積極的に情報提供と助言を得るよう努めていきたいです。 ・自己評価の通り ・いろいろと情報交換ができています。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	7	6		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に本人、家族に対して説明し同意を頂いている。サービス開始後も問われることがあればその都度説明している。 ・サービス利用していく中で援助に依存的になるケースもありその都度趣旨を説明している。 ・毎月のミーティングで利用者状況確認を行い、利用者の在宅生活継続と心身機能維持のため提供しているサービスであることを職員全員で意識して話合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の通りだと思います。ご理解を得るためには、何度も説明が必要なときもあるかと思っています。 ・職員全員でサービスの趣旨及び特徴について認識されていると思われます。同じ方向を向いて支援していく事が重要であると考えます。 ・定額制のサービスであり、理解していただく事が難しい場合もあると思います。わかりやすい方法で繰り返し対応していくことが大切だと思います。 ・利用者にも説明するとともに、業務にあたる事業者側もサービスの趣旨を正しく理解し、統一した姿勢でサービス提供できるとよいと思います。 ・利用者・家族が理解しやすい方法で繰り返し説明されることが大切だと思います。 ・適切に行われていると思います。今後とも丁寧な説明を心がけていきたいです。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				でき ている	でき てい る ほ ぼ	でき てい ない こ と が 多 い	でき てい ない 全 く	
II 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	3	10		<ul style="list-style-type: none"> 計画内容について分かりやすく、簡潔に説明できるよう努めている。 利用者、家族へ説明して同意を得ている。 サービス提供していく中でも目標や内容を利用者へ声掛けしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の通りです。 利用者家族との信頼関係の構築に努め、一緒に目標設定し、在宅生活の支援を継続していただきたいです。 できるだけわかりやすい言葉で説明はされると思いますが、なかなか利用者には十分認識してもらっているのは難しいと感じています。 自己評価の通り 自己評価の内容を継続していただきたいです。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	9	4		<ul style="list-style-type: none"> 状態変化があればご家族、関係機関へ連絡し報告相談している。 家族への連絡方法は連絡帳やメモ、電話などで確認している。 フェニックスネット活用し関係機関へも報告している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の通りに支援されていると思います。 状態変化時、サービス提供の変化時の連絡相談先がきちんと構築されていると思います。 できていると思います。 自己評価の通り 自己評価の内容を継続していただきたいです。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	6	7		<ul style="list-style-type: none"> 毎月のモニタリング報告で情報共有している。それ以外にも日々、フェニックスネットを通して情報提供している。・フェニックスネット加入していないケアマネは電話にて行う。・状態変化に合わせて担当者会議を行いサービス提供日時等ケアマネと共同で決めている。 利用者家族から必要以上の要望が多い場合もあり必要性を検討しケアマネジャーと決めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に行われていると感じています。 定期や適宜必要な時の報告が、適切に情報提供できる体制であると思います。 できていると思います。 自己評価の通り フェニックスネットを有効活用されていると思います。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	1	12		<ul style="list-style-type: none"> インフォーマルサービス(配食、ごみ収集)等も含め、他介護サービス利用の提案など利用者の状況に応じて情報提供している。 目標達成のためケアプランへの提案を積極的にしている。 活用できるインフォーマルサービスについて知識を得る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のインフォーマル支援の情報も周知されているようです。把握できることで、地域社会との連携も深まるのではと考えます。 インフォーマルサービスの情報収集の方法や持っている情報の管理方法(リストがある等)で取り組まれていることはありますか。 ケアマネジャーとは密に連携が図れていると思います。 地域包括支援センターでは地域の社会資源について様々な情報を把握しています。必要に応じて情報提供や地域関係者とのネットワーク作りにおいて連携を図れるのではないかと思います。 地域のインフォーマルサービスの把握にも努めていただければと思います。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	できて いない ことが多い	できて いない	できて いない	全く できて いない	
II 過程評価 (Process)									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	5	8			<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で会議の場が少ないが照会文書よって情報提供している。ケアマネよりまとめた文書を多職種の情報共有できる。 ・日ごろよりフェニックスネットを活用し多職種へ情報共有している。 ・フェニックスネット加入事業所を増やして情報共有を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんからの情報は非常に有効です。今後も情報提供やご意見をお願いします。 ・多職種との連携に積極的に取り組まれていると思います。 ・適切にできていると思います。 ・自己評価の通り ・コロナ禍で大変かと思えます。引き続き工夫をして情報共有を図っていただければと思います。 ・フェニックスネットでの活用ができています。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	2	10	1		<ul style="list-style-type: none"> ・定期随時サービスだけでなく他サービス利用することで有意義な在宅生活を送れるかを考慮している。 ・利用者の生活状況や介護者の介護力や負担状況により活用できる介護サービスや保険外サービス、インフォーマルサービス等をケアマネや多職種で検討している。 ・保険外サービスの料金面で利用に繋がらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭面や条件等で保険外サービスに結びつかないこともありますが、既存のサービス事業所とも相談しながら、包括的に支援ができればと考えています。 ・利用者には適切なサービス提供を常に心がけていると思います。積極的に検討や提案が行われています。保険外サービスの料金に関しては利用者、家族の事情もありむずかしいところだと思います。 ・様々な利用者があるため、検討したことがうまくつながらない場合もありますよね。実際は金銭面等もあり難しいことも想像できます。 ・自己評価の通り ・なかなかサービス利用につながらない事が多いと思いますが、多職種での検討はこれからも大切だと思います。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	2	11			<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で病院でのカンファレンスができていない。 ・入退院時にはケアマネより情報共有が行われ、それぞれの専門職がどう関わっているか検討している。 ・退院時のサマリなど詳細な内容を受け入院中の状況や治療方法、退院後在宅での留意点など多職種間で情報共有できている。 ・職員間でも情報共有しサービス提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で皆さん全員集合してのカンファレンスが難しい時もありますので、皆さんが欲しい情報・知り得たい情報に留意しながら情報提供できるようにしていきたいです ・コロナ禍により、入院中の情報収集は難しい場合もあると思いますが、多職種間での情報共有やサービス提供のための職員間での共有を積極的に行っていると思います。 ・退院前カンファレンスはしばらく難しいと思いますので、何かわからないことがあればいつでも連絡ください。 ・自己評価の通り ・引き続き工夫をして情報共有を図っていただければと思います。 ・コロナ禍で会議棟で顔を合わせての情報共有ができなく残念です。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント
				実施状況					
				できていない ことが多い	できていない が少し多い	ほぼ できていない	できていない がほとんどない	完全に できていない	
II 過程評価(Process)									
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	4	9			<ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイやデイサービスなどフェニックスネットを通じて連携しサービス利用状況など共有できている。・担当者会議や必要時にはそれぞれの役割を再確認している。 ・災害時など地域の方の力も必要なため、民生委員の把握、地域との連携を図っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議等での多職種連携により、役割の確認が都度行われていると思います。 ・地域包括支援センターでは地域の民生児童委員やコミュニティセンター、町内会との連携・関係づくりに取り組んでいます。地域関係者とのネットワーク作りにおいて連携を図れるのではないかと思います。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることでできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	5	8			<ul style="list-style-type: none"> ・介護・医療連携推進会議の資料や議事録などまとめ、情報発信している。 ・事業所内ではいつでも閲覧できるように年度ごとにファイリングされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状通り継続をお願いします。 ・会議資料や議事録は大変わかりやすく作成されています。事業所で取り組んでいる目標や目標にむけての活動、事例紹介など事業所からの情報発信が豊富だと思います。 ・閲覧にとどまらず、内容理解までいけるように何か工夫されていますか。 ・自己評価の通り ・自己評価の通りと思います。 ・議事録をお届けいただきありがとうございます。 ・地域への情報発信が重要 ・適切に会議資料が共有され内容の確認がなされている。 ・地域密着型で早速に防災訓練講座、クリーン作戦参加ありがとうございます。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	3	6	4		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は定期随時サービスの内容を掲載した広報誌を作成し定期的に地域へ回覧している。今年度5月7月発行済み、年度内に後2回発行予定。 ・コロナ禍で地域へ参加する機会がない。 ・今年度は徐々に参加している。今後は関係性を築き継続的な広報活動ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌作成など、新たな試みに挑戦されているようです。今後も効果的な広報になるような取り組みをお願いします。 ・広報誌の回覧は地域に事業所を知ってもらうとでも有効な取り組みだと思います。地域の方が発行を楽しみに待つようになるよう工夫をお願いします。コロナの感染状況に応じ、地域活動への参加も増えて行くことを願っています。 ・まだしばらく続くと思われるこの状態ですので、広報活動の内容については見直しも必要かもしれませんね。 ・地域包括支援センターでは各地域の課題や特性の把握に努めています。地域に向けた情報発信に際しても連携を図れるのではないかと思います。 ・コロナ禍で大変かとお思います。引き続き方法の検討をしていただきたいと思います。 ・なかなか地域活動に参加できずこちらも残念です。 ・サービス内容の告知が必要 ・広報誌発行されクリーン作戦等の地域活動へ参加など積極的な活動されている。 ・協力できるのは回覧板くらいですがよろしくをお願いします。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				でき ている	でき てい る ほ ぼ	でき てい ない こ と が 多 い	でき てい ない 全 く	
II 過程評価(Process)								
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	10	3	<ul style="list-style-type: none"> ヘルパー研修や事務所にて確認できるようになっている。 職員全員が十分に理解しているとは言えない。介護の専門職であり、地域の担い手として、繰り返し研修を行い理解する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 理解するよう研修実施等努力されていると思います。 第8期計画や長岡市地域福祉計画やコロナ禍においても、地域包括ケア推進に向けた勉強会や市民向けセミナーも開催されていますので参考にして下さい。 	
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	5	8	<ul style="list-style-type: none"> 包括にしながおかエリア内で広く展開している。移動時間は10分～20分かかかるエリアへも訪問し広く展開している。エリアが広くコールがある時は状況によりすぐに訪問できないため待ち時間を伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 包括にしながおか圏域は広く、移動や訪問スケジュール調整が大変なのではと感じます。継続した支援が行えるようお願いいたします。 利用者の状況や職員配置の状況など、迅速な対応が可能な状況ではない場合もあるとは思いますが、理解を得ながら広く提供に努めていると思います。 職員が理念を共通認識し、サービスの特徴に基づき、利用者の思いに寄り沿い支援されていると思います。 適切にできていると思います。 自己評価の通り 出来ていると思います。 	
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている <u>(※任意評価項目)</u>	2	5	6	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は推進会議開催により関係機関から意見要望を直接聞くことができているが、地域の問題や課題提起までできていない。 今まではコロナ禍で地域参加できなかった。今年度から少しずつ地域へ参加するようになっている。 まちづくりについて考えるためにも、地域の方や関係機関との顔の見える関係作りネットワーク作りが必要。推進会議のあり方や進め方など意見交換の場として改めて考えていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域にむけての広報活動など、コロナ禍でも可能な活動を積極的に取り組まれていると思います。 地域の事業所や地域住民との交流の機会があるといいと思います。推進会議で地域内の課題や活動などの意見交換も関係作りにも有効かと思えます。 地域包括支援センターでは地域課題の把握に努めています。連携を図りながら問題意識の共有が図れればと思います。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				こ る ひ き て い る	で き て い る ほ ぼ	こ と が 多 い で き て い な い	で き て い な い 全 く	
Ⅲ 結果評価(Outcome)								
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	3	10		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の目標達成に向けてモニタリングしている。 ・定期的訪問により生活リズムが整い、内服管理ができるなど課題目標を達成でき在宅生活が継続できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画立案で終わりではなく、本人様の状態や意向に応じて計画の見直しをお願いします。目標達成を目指し、利用者様やご家族が望む生活を送れるようご支援をお願いします。 ・住み慣れた地域での暮らしの不安が貴事業所のサービスにより、本人、家族、地域の不安の軽減につながっていると思います。目標に寄り添い共に達成を目指してほしいと思います。 ・困難事例にも、常に利用者の思いを大切にし、真摯に向き合っていると思います。 ・自己評価の通り ・出来ていると思います。 ・目標達成ができるよう頑張っておられます。顔合わせていろいろなサービスと目標の共有ができるといいです。 ・一律にせず個人々人対応できることが一番良い。 ・利用者の体調変化に合わせ支援がなされている。 ・現状としては申し分ないと思っております。夜間一人訪問だけが心残りです。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	8	5		<ul style="list-style-type: none"> ・サービスにより安心して生活を送れているとの言葉聞かれる。 ・24時間随時対応出来ている。 ・テレビ電話を通して24時間安心がつながっている。 ・コロナ感染によるデイサービスやショートステイが休業となり在宅生活継続のためヘルパー随時訪問し安心できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で不安を感じているご利用者もいらっしゃると思うため「つながっている」というのは非常に心強く、安心感を得られていると思います。また、随時対応ができるのも、安心感が得られる一つだと感じています。大変だと思いますが、今後もご支援をお願いします。 ・住み慣れた地域での暮らしの不安が貴事業所のサービスにより、本人、家族、地域の不安の軽減につながっていると思います。常につながり先があり、適宜対応してもらえるところが心強く感じられ、不安も軽減されているのではないのでしょうか。 ・本当に素晴らしいサービスで、長岡の誇りだと思います。いつもお疲れ様です。 ・自己評価の通り ・出来ていると思います。 ・テレビ電話で繋がっていることは利用者の安心になっています。急変時や災害時も有効だと思います。 ・安心して自宅で生活できることが重要 ・テレビ電話はいつでも連絡がとれるという安心感を提供されている。 ・将来絶対に利用させていただきたいほど素晴らしいと思います。